

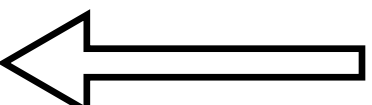
# ○ 星の花が降るころに

## 学習目標Ⅱ ( )

1 銀木犀に対する考え方を読み取ろう。

銀木犀に関する表現	私の銀木犀に対する考え方
○銀木犀の花は ( ) で ( ) をしている。 そして雪が降るように音もなく落ちてくる。去年の秋、 ( ) 気がつくくと、地面が白い星形でいっぱいになっていた。これじゃ踏めない、 これじゃもう動けない、と夏実は幹に体を寄せ、 ( ) ○ ( ) ( ) 小さなビニール袋をポケットの上からそつと なでた。中には ( ) ( ) とう ○夏実と私はここが大好きで、 ( ) ( ) 決めていた。 ( ) とう信じ ていられた。	

変化のきっかけ



最 後	
○かたむいた陽が葉っぱの間からちらちらと差し、半円球の宙にまたたく星 みたいに光っていた。 ○ポケットからビニール袋を取り出した。花びらは ( ) ○袋の口を開けて、 ( ) ○ここでいつかまた ( ) それとも ( ) あるいは ( ) ○どちらだっていい。 ( ) ○私は ( )	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

2 最後の「私は銀木犀の木の下をくぐって出た。」という行動に表れた私の気持ちを考えよう。

自分の考え

--

全体のまとめ

--